阪航工契第470号

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件　　名　岡山空港出張所庁舎改修工事

開 札 年 月 日　令和8年10月16日　　（落札決定日　令和8年11月12日　）

入 札 執 行 官 署　大阪航空局

落　札　金　額　￥ 26,840,000 －

落　　札　　者　株式会社三協商建

予 定 価 格　￥ 45,111,000 －

積　　算　　額　￥ 45,111,000 －　　入札書比較価格（予定価格の100/110）　￥ 41,010,000 －

調 査 基 準 価 格　￥ 41,008,969 －　　調 査 基 準 価 格 の 100/110　￥ 37,280,881 －

基 準 評 価 値　243.842

低入札価格調査実施済　第1回目落札

入札参加者	評 価 点 (満点174.5点)	第１回入札			第２回入札			摘　要
		入札金額	評 価 値	評 価 値 ≧ 基準評価値	入札金額	評 価 値	評 価 値 ≧ 基準評価値	
株式会社三協商建	126.0	24,400,000	516.393	○				落札
株式会社カザケン	132.0	37,000,000	356.756	－				
松野建設株式会社	－	43,800,000	－	－				
株式会社三幸工務店	－	辞退	－	－				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）。
※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第３位まで表示）。
※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（１円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
※本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和8年11月12日に落札者を決定した。

総合評価落札方式評価点内訳(施工能力評価(Ⅰ型)・施工体制確認型)

件　名　：　岡山空港出張所庁舎改修工事

入札参加者	標準点	加算点						施工体制評価点			技術評価点
		技術提案	企業の施工能力	配置予定技術者の能力	賃上げ実施の表明	WLB等を推進する企業	計	品質確保の実効性	施工体制確保の確実性	計	
株式会社三協商建	100	－	11.0	10.0	0.0	0.0	21.0	5.0	0.0	5.0	126.0
株式会社カザケン	100	－	15.0	5.0	2.0	0.0	22.0	5.0	5.0	10.0	132.0
松野建設株式会社	100	－	4.0	7.0	2.0	0.0	13.0	予定価格超過			
株式会社三幸工務店	100	－	12.0	7.0	2.0	0.5	21.5	入札辞退			

低入札価格調査の実施概要（建設工事）

件　　名 ：岡山空港出張所庁舎改修工事

発 注 機 関 名 ：大阪航空局

調 査 対 象 業 者 ：株式会社三協商建

項　　目	内　　容
(1) その価格により入札した理由	直接工事費については、図面及び参考数量を協力業者に提示し、施工内容等を確認の上徴取した見積に基づき、入札価格を決定している。 また、共通仮設費については、本工事において必要となる項目について、必要額を計上している。現場管理費及び一般管理費については、直接工事費より公共建築工事共通費積算基準を基に算出した金額から、低減可能な範囲で減額して計上をしていることをヒアリングにて確認した。 これらの理由により当該価格にて入札したとのことである。
(2) 契約対象工事付近における手持工事の状況	配置を予定している主任技術者は1 級建築施工管理技士の資格を有しており、現場代理人は1 級建築施工管理技士補の資格を有している。また、手持ち工事の状況を確認したところ、主任技術者及び現場代理人に現在施工中の手持ち工事は無く、技術者の配置は適正であると思料される。
(3) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	配置を予定している主任技術者は1 級建築施工管理技士の資格を有しており、現場代理人は1 級建築施工管理技士補の資格を有している。また、手持ち工事の状況を確認したところ、主任技術者及び現場代理人に現在施工中の手持ち工事は無く、技術者の配置は適正であると思料される。
(4) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	調査対象者の営業所は工事現場から58.5km（所要時間：約1時間20分）の距離に位置しているが、緊急時には連絡を受けた時点から急行できることを、ヒアリングにより確認した。
(5) 手持資材の状況	なし。
(6) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入については、過去に取引実績のある協力業者にて、調達することを確認した。

(7) 手持機械数の状況		資料及びヒアリングにより、本工事で使用する工事標識やカラーコーン等及び仮設材や産業廃棄物の運搬車両については自社保有のものを使用する計画であり、揚重機や現場事務所等については長年取引実績のある協力業者からリースにて調達する予定であることを確認した。
(8) 労務者の具体的供給見通し		工種ごとに協力業者の労務者を確保し、適切に配置する予定であることを確認した。
(9) 過去に施工した公共工事名及び発注者		過去に施工した公共工事を確認したところ、過去5年間（令和3年4月1日以降に完成・引渡しが完了した工事）において、国の発注工事2件、公共法人の発注工事4件の施工実績があり、国発注工事の工事成績評定点の平均は79.5点であったため、概ね適切な施工が行われているものと思料される。 また、調査基準価格を下回る価格で受注した工事が1件あったが、発注者へのヒアリングにより、特に問題なく施工が完了していることが確認できた。
(10) 経営内容		調査対象者の経営内容は、直近の財務諸表等の報告書から、健全な経営が行われていると判断する。
(11) (1)から(10)までの事情聴取した結果についての調査検討		以上の調査事項について確認した結果、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとは言えないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
(12) (9)の公共工事の成績状況		過去に施工した公共工事は適切に行われており、工事の品質については問題はないと判断する。
(13) 経営状況		問題なし。
(14) 信用状況	法令違反の有無	無
	賃金不払いの状況	無
	下請代金の支払遅延状況等	無
(15) その他の必要な事項		無